

『日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント』を振り返る

『日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント』概要

2017年より日本と台湾の女子プロゴルファー交流試合として、『日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント』が開催された。2020年時のコロナ（COV-19）禍による中止をはさみ、2023年まで通算6回開催されている。

この試合は一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）が主催するステップ・アップ・ツアーの一環として、2014年から開催された『うどん県レディース金陵杯』トーナメントが衣替えをしてのものだった。

経緯としては2016年に台湾女子プロゴルフ協会（TLPGA）よりJLPGAへ「台日女子プロ交流トーナメント」の提案があり、これまで『うどん県レディース金陵杯』を共催して来た岡山放送株式会社（OHK）が、賛同する形で翌年から始まった。

当該大会開催コースは香川県の満濃ヒルズカントリークラブであり、香川県も特別協力している。同県と台湾は友好関係にあり、県内の高松空港から台湾の桃園空港へは、直行便が飛んでいる事でも良く分かる。

交通アクセスが良いと言う事は、人々の往来がし易く、この大会を開催する上でも良好な環境だったと言える。

大会の概要は下記の通り。

■ 大会概要

- ★ 大会名称：日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント
- ★ 主 催：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会
- ★ 共 催：OHK 岡山放送株式会社
- ★ 公 認：台湾女子プロゴルフ協会
- ★ 会 場：満濃ヒルズカントリークラブ（香川県仲多度郡まんのう町炭所東 2672）
- ★ 出場選手：107人～108人（協会選考選手90名中、JLPGA60名、TLPGA30名）
- ★ 競技方法：54ホール・ストロークプレー
予選ラウンド36ホール終了時、上位50位タイまでの者が決勝ラウンド進出
- ★ 賞金総額：2000万円（優勝賞金360万円）
- ★ 特別協力：香川県
西野金陵株式会社
今治造船株式会社
うどん県レディース応援プロジェクト
満濃ヒルズカントリークラブ / 台湾三三企業交流会（2018年より）

優勝者一覧及び来場者数

歴代の優勝者は下記の通りだが、トーナメントの推移も一瞥出来る様、『うどん県レディース金陵杯』から記載する。

どれほどの来場者が当該大会を観戦したのか、この記録も併せて記載するが、これは JLPGA の Web サイトに掲載されているものを一次資料として、筆者が表にしてまとめた。

なお 2020 年に中止となった翌年の 2021 年以降、来場者数が半減しているのは、多分にコロナ (COV-19) の悪影響によるものと推察される。

コロナに対する科学的な認識不足が日本社会に蔓延し、社会不安が助長された。更には抑圧的な社会規範から、何らかしらの理由でマスクを着用していない人物に対し、たとえ殴ろうとも犯罪になりづらい、その様な暴力行為が大目に見られるほど社会は混乱していた。

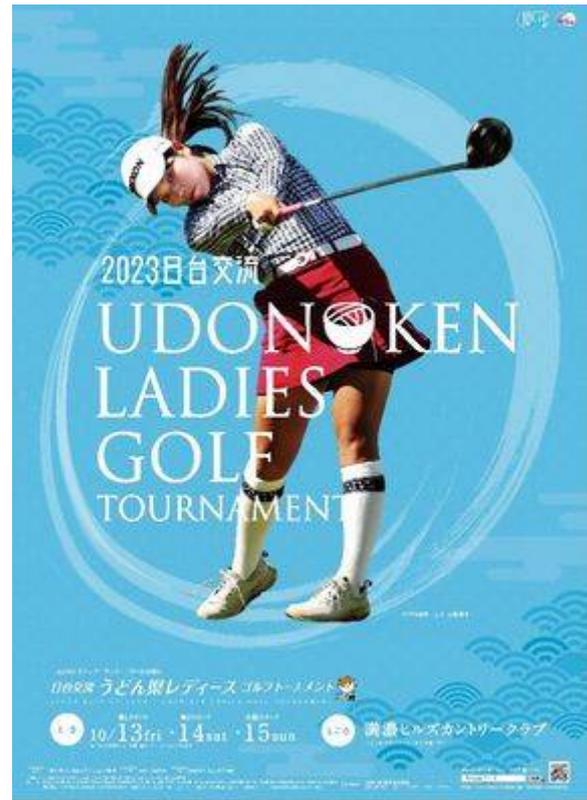
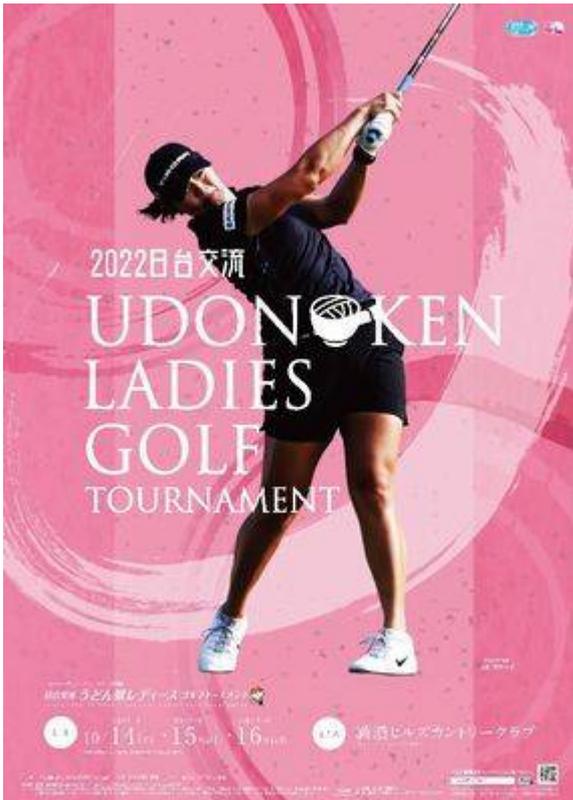
年度	トーナメント名称	優勝者	スコア	優勝賞金
2023	日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント	沖 せいら	-9	360 万円
2022	日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント	櫻井 心那	-17	360 万円
2021	日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント	山本 景子	-8	360 万円
2020	コロナ (COVID-19) 禍により中止			
2019	日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント	ヌック スカパン	-11	360 万円
2018	日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント	河本 結	-11	360 万円
2017	日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント	吉本 ひかる	-8	360 万円
2016	うどん県レディース金陵杯	曾田 千春	-6	270 万円
2015	うどん県レディース金陵杯	青山 加織	-6	270 万円
2014	うどん県レディース金陵杯	西木 裕紀子	-6	270 万円

トーナメント開催中の天候及び来場者数							
年度	1 日目		2 日目		3 日目		合計人数
2023	晴れ 22 度	0	曇り 21 度	1,675	晴れ&曇り 24 度	1,447	3,122
2022	曇り&晴れ 23 度	0	晴れ 23 度	1,294	晴れ&曇り 24 度	1,262	2,556
2021	晴れ 26 度	0	晴れ&曇り 25 度	1,057	曇り&雨 17 度	1,033	2,090
2020	コロナ (COVID-19) 禍により中止						
2019	曇り&雨 21 度	0	曇り&雨 21 度	2,138	曇り&晴れ 23 度	4,148	6,286
2018	晴れ&曇り 18 度	0	晴れ 20 度	3,349	晴れ 21 度	3,735	7,084
2017	曇り&晴れ 19 度	0	曇り&晴れ 20 度	2,839	雨 17 度	3,176	6,015
2016	晴れ 22 度	2,624	曇り 25 度	3,437			6,061
2015	晴れ 22 度	2,386	晴れ 24 度	2,897			5,283
2014	晴れ 34 度	—	曇り&雨 27 度	—			—

参戦した台湾側選手一覧

2017年の第1回大会から2023年の第6回大会まで、当該大会へ参戦した台湾側選手の一覧は下記の通り。人名前の番号は、あくまでも人数を把握し易くするため便宜的につけており、順番はあいうえお順に記載している。

	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年
1	ウェイ ユンジェ	イ ジョン	@ウー チャイエン	ヌック スカパン	ウー チャイエン	ウー シャオリン
2	ウー シャオリン	イ ナリ	ウー ツーユン	フェービー ヤオ	クォ アイチェン	ウー チャイエン
3	クォ アイチェン	ウー シャオリン	O.コンサンティア	リ ハナ	ジュリアナ ホン	O.コンサンティア
4	サイ シンエン	クォ アイチェン	クォ アイチェン		チェン イーウエン	クォ アイチェン
5	シー フェイルー	シェー ユーリン	サイ ペイイン		チェン スーハン	タイ チャウエン
6	シン シウエンホー	スクーピー リュウ	シェー ユーリン		フェービー ヤオ	タイ ユーシヤン
7	スクーピー・リュウ	チェン ユージュウ	ジェシカ・ボン		リン シャンウェイ	チェン イーウエン
8	ス'オン ルイシン	チェン シウエン	スパ'マス サンチャン			チェン スーハン
9	チャン ウエイウェイ	チェン スーハン	タイ チャウエン			チェン リンジー
10	チェン ミンロウ	チェン イーウエン	チェン スーハン			チャヤヌン チョンラダ
11	チャン シュエンピ'ン	チェン ミンシュン	チェン イーウエン			チャン シュエンピ'ン
12	チェン イーウエン	@チョウ イーティン	チャン チンリン			チャン チンリン
13	チェン ユージュウ	チェン チイフエイ	C.トライチャ			チャン ヤチイ
14	チェン モンチュウ	ツイ シンエン	ドリス チェン			チョウ イーツェン
15	チェン チイフエイ	ハナー チェン	ヌック スカパン			ファン ユーシン
16	@チャン ツーイー	P.チュティチャイ	ハン スンジ			プリンセス スペラル
17	チャン ヤチイ	ファン ペイウエン	ハン イェンリン			ペイフ'リュウ
18	ハナー・チェン	ブ'ッサハ'コン・スカパン	P.チュティチャイ			リュウ ホウサン
19	ハン イェンリン	@ホウ ユーチャン	P.プリンナパン			李 欣
20	ファン チン	ミナミレボ'ノウイチ	ファン チン			リー ジャーペイ
21	ファン ペイウエン	ユー ペイリン	ファン ユーニン			リー タイリン
22	ファン ユーニン	リー シン	ファン ユーシン			リン イーフイ
23	ファン スーシウエン	リ エスト	プリンセス スペラル			リン シャンウェイ
24	ミン リー	リー タイリン	リー タイリン			リン チュウ
25	ユー ペイリン		リー ジャーペイ			ワン リーニン
26	@ライ イーティン		ワン リーニン			
27	リカ パーク					
28	リー タイリン					
29	リー チャーペイ					
30	リー シン					
31	リァン イーリン					
32	リン チュウ					



これらのポスターは『日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント』へ移行してからのものだが、大変華やかで印象に残る大会ポスターである為、記録しておく事が大切だと考え掲載したが、当然ながら関係者へ掲載に関する確認を済ませている。

後援体制

後援体制		
高松市	まんのう町	綾川町
香川県教育委員長	四国旅客鉄道	高松琴平電気鉄道
四国ゴルフ連盟	香川県ゴルフ協会	岡山県ゴルフ協会
中四国ゴルフ練習場連盟	香川県商工会議所連合会	香川経済同友会
香川県観光協会	産経新聞社	四国新聞社
山陽新聞社	RNC 西日本放送	KSB 瀬戸内海放送
RSK 山陽放送	TSC テレビせとうち	FM 香川
デイリースポーツ	高松リビング新聞社	香川経済レポート社
香川県ケーブルテレビ振興協議会	台北駐日経済文化代表処	

上記表にて確認出来るよう、香川県を中心にした行政や企業更には団体などが、当該トーナメントの支援体制に入っている。ある意味香川県に関係する様々な組織が、このよーナメントを盛り上げようとする姿勢を、この後援体制から垣間見る事が出来る。

トーナメントを振り返り

このトーナメントを振り返った時、特別協力にあたった或いは後方支援にまわった企業や団体などによる、縁の下の力持ち的努力があったればこそ、JLPGA や TLPGA も戦いの舞台に立てた事を理解出来る。

これら企業や団体の底力と言うものが、7年間に渡り6回ものトーナメント開催へ導いていった原動力になったのである。香川県の活力を垣間見れた、その様な大会だったのではないだろうか。

特に特別協力へ名を連ねている西野金陵株式会社や今治造船株式会社は香川県を代表する企業だが、トーナメント開催を通じた台湾との交流促進、そしてここからもたらされる経済効果と香川県経済の活性化は、これら企業にとっても本業とは別の意味で大きなテーマだったのではないだろうか。

そしてこれは何も香川県に限定した話では無く、同様にパートナーとなった台湾にも通じる話だったと思われる。

しかし事台湾に関して言えば、コロナ (COV-19) 禍により中止を余儀なくされた2020年、その一年後に再開した2021年には、台湾側からの参加選手は3名のみと言う悲しい現実があった。コロナ (COV-19) 禍を引きずった渡航制限が、大きく影響したのだと推察されるが、非常に残念だったと言う一言に尽きる。

当該トーナメントは2023年の開催が最後になったが、2026年の今年、JLPGA と TLPGA 共催による『台湾ホンハイレディースゴルフトーナメント』が、台湾の地で48年ぶりに開催される。

大変楽しい大会だが、『日台交流うどん県レディースゴルフトーナメント』が下地になったのであれば、この6回に渡る大会が大きな意義のあるトーナメントだった、と振り返る事が出来るのではないだろうか。

今後日台の交流が、益々盛んになる事を祈念したいものだ。

2026年2月27日

文__大野良夫 © Yoshio Oono

日本ゴルフジャーナリスト協会員